平成２９年(2017年)１月１１日（水曜日）
釧路新聞

厚床小で道徳の授業

子どもが幸せに暮らせる社会

こうろん 論

犬たちと一緒に、子どもたちに命の大切さを伝える『動物思いやり教室』を行っています。

昨年9月末、根室市立厚床小学校で1、2年生を対象に、道徳の授業を行いました。そこでは、担任の先生から〝『しおんの会』を作るきっかけになった話をしてほしい〟と頼まれました。

8月23日、全身が痙攣（けいれん）する発作に突然襲われ、9月10日に私の胸の中で静かに息を引き取った星子。15年前、雪の中に埋もれ捨てられていた星子を拾ったことがきっかけで、しおんの会を作りましたが、子どもたちの前で話をしているうちに、涙があふれてしまいました。

「泣いてしまってごめんなさい」と謝り、子どもたちの顔を見ると、目を赤くしたり涙を拭う子もいて、子どもたちの優しい気持ちがとてもありがたく感じました。

後日、担任の先生から感想文が届きました。子どもたち一人一人の顔を思い浮かべながら、うれしく拝見しましたが、その中からYさんの作文を紹介します。

「9月28日水曜日に、思いやり教室をしました。私は、200匹以上の犬の飼い主が見つかったと聞いて、すごいなと思いました。困っている犬を見つけて、それから保護したのが200匹以上だということもすごいし、飼い主まで見つかったことは、大分すごいことだと思ったからです。私は、犬や動物に優しくした方がいいとわかりました。また、厚床小学校に来てほしいと思います。これからも、犬や動物、友だちも大切にしていきたいと思いました。本当にいい勉強になりました」。

私は子どもと犬は無限の可能性を持っていると信じています。自分は愛されていると心から感じ、良き指導者（飼い主）と出会えば、可能性の種はどんどん成長し花を咲かせると…。

犬の保護活動を通じて、子どもたちがのびのびと幸せに暮らせる社会が私たちの願いです。

皆さま、今年もよろしくお願いします。

（福澤　智子）
ふくざわ・ともこ　NPO法人ドッグレスキューしおんの会代表